

# かしわ もり 柏葉の杜



学校だより NO. 47  
平成30年12月13日  
八頭町立八東小学校  
電話71-0108 FAX71-0107



次にコンサートでは、『天空の城ラピュタ』の「君をのせて」や『耳をすませば』の「カントリーロード」などジブリの世界を表現して下さいました。また、音をみんなに聞いて欲しいと言うことで、女性が出す「ソプラノ」と男性が出す「バリトン」の声でオペラ音楽を聴かせて頂きました。会場に響渡る声のすごさにみんなびっくりしていました。一人の人間が出す声が、こんなにすごいものなのか、音楽・声楽の奥深さに触れさせてもらいました。

## 楽しかったクリスマスコンサート

12月7日（金）、特別非常勤講師の西岡先生の音楽サークル（プレヴィス キンダーリート アンサンブル）に御来校頂き、クリスマスコンサートを行いました。安部・八東・丹比の3保育所の年長児も一緒に参加しました。

まず最初に、「いなばの白うさぎ」の絵本オペレッタをして頂きました。スクリーンに映し出される挿絵を見ながら、音楽に合わせてお話が進んでいきました。子供たちは、ウサギ役とサメ役の歌に聞き入っていました。よく知っている物語でしたので、親しみを持ちながら聞いていました。



最後に、会場のみんなで「ふるさと」を手話を交えながら、歌ってコンサートを終了しました。

児童代表挨拶では、「小竹味歩さん」が「ジブリの世界と素敵な音楽をありがとうございました」とプレヴィス キンダーリート アンサンブルの皆さんに伝えました。

先日は、ジャズコンサート、今回はクリスマスコンサートで楽しい音楽を聴くことができました。本物の素晴らしい音に出会う機会を持たせて頂き、本当にありがたく思っています。

きっと子供たちの心に残ることでしょう。

### 〔子供たちの感想〕

- ・知っている曲でしたが、聞き慣れたものと少し違うのもあり楽しかったです。
- ・高い音や低い音があったり、ずらして歌ったりしていてすごかったです。
- ・高いパートのところでも音が小さくならず、アリーナ全体に響いてすごいと思いました。
- ・声がすごく高くてびっくりしました。ぼくも高い声が出せるけど、ぼくの10倍すごかったです。





## クラリネットの音色に

4年生の音楽では、「いろいろな音のひびきを感じ取ろう」という学習をしています。その一つとして、先日、学校支援ボランティア（つながり隊）の坂本朋子さんにおいて頂き、クラリネットについていろいろと教わりました。クラリネットは、子供たちが使っている「ソプラノリコーダー」とは違い、3オクターブ以上もの音を出すことができます。あまりにも広い音域に子供たちはびっくりしていました。

また、クラリネットの原材料である「アフリカンブラックウッド」に実際に触らせて頂き、杉や松とは違い、ずっしりと重みがあり、丈夫であることを実感しました。

ミニコンサートでは「校歌」をまず演奏して頂きました。次に「クラリネットポルカ」、「ふるさと」では曲に合わせて一緒に歌いました。その他にも「ビリーブ」「音のカーニバル」「いつも何度でも」「もののけ姫」などを演奏して頂きました。知った曲が多く、クラリネットの音色に気持ちよく聞き入っていました。

最後に、季節に合わせて「あわてんぼうのサンタクロース」を演奏して頂き、授業を終えました。

楽器によって、ひびきが変わることを実感できたことと思います。多くの楽器に触れ、その音色を知り、音楽に親しみを更に持ってくれたらと思います。

## 宿題を見てあげていますか？

子供たちの提出した家庭学習を見てみると、いい加減で、乱雑・粗雑なまま宿題を出す児童がいます。家の人に見てもらわないで出している児童がいるということです。

学童期の子供たちにとって、学校はもちろん大切ですが、保護者の家庭学習に対する役割も大変重要となってきます。学校と家庭が両輪となって子供たちを育てていくことによって、確かな学力がつかます。

### 【御家庭で見てもらいたいこと】

- 九九が覚えられているか。（家事をしながら、聞いて下さい。）
- 音読が正しくできているか。（家事をしながら、聞いて下さい。）
- 漢字書き取りや計算ができているか。（低学年は、特に気をつけて見て下さい。）
- 宿題ができているか。（寝る前までに、ノートを見てあげて下さい。気になる点もあると思いますが、その時に、した事実を認め子供たちへの**励ましの言葉**を掛けて頂けると、次への励みとなります。）



また、八頭町では「8」のつく日を「やずっ子のチャレンジの日」として、活用問題への取り組みをスタートしました。ところが、わからないため手つかずのまま出す子供たちがいます。わからなければ、家の人に聞くこともいいです。また、自分で途中まで、解いてみることも大切です。できないままほったらかしになっていることが一番いけません。

子供たちに「宿題できたか」「ノート見せてみなさい」「わからなければ聞きんさい」と、声かけをして下さい。また、わからない問題は、一緒に解いてみてやって下さい。親子のふれ合いがうんと増えることでしょう。学習の習慣付けの土台は、家庭にあります。八頭町全体でも今、家庭学習への取り組みを進めています。

よろしくお祈りします。